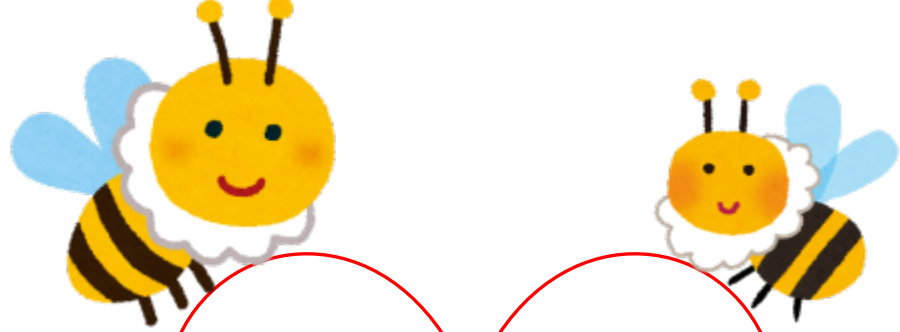
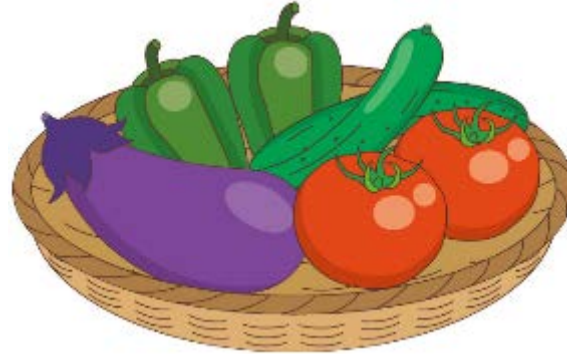




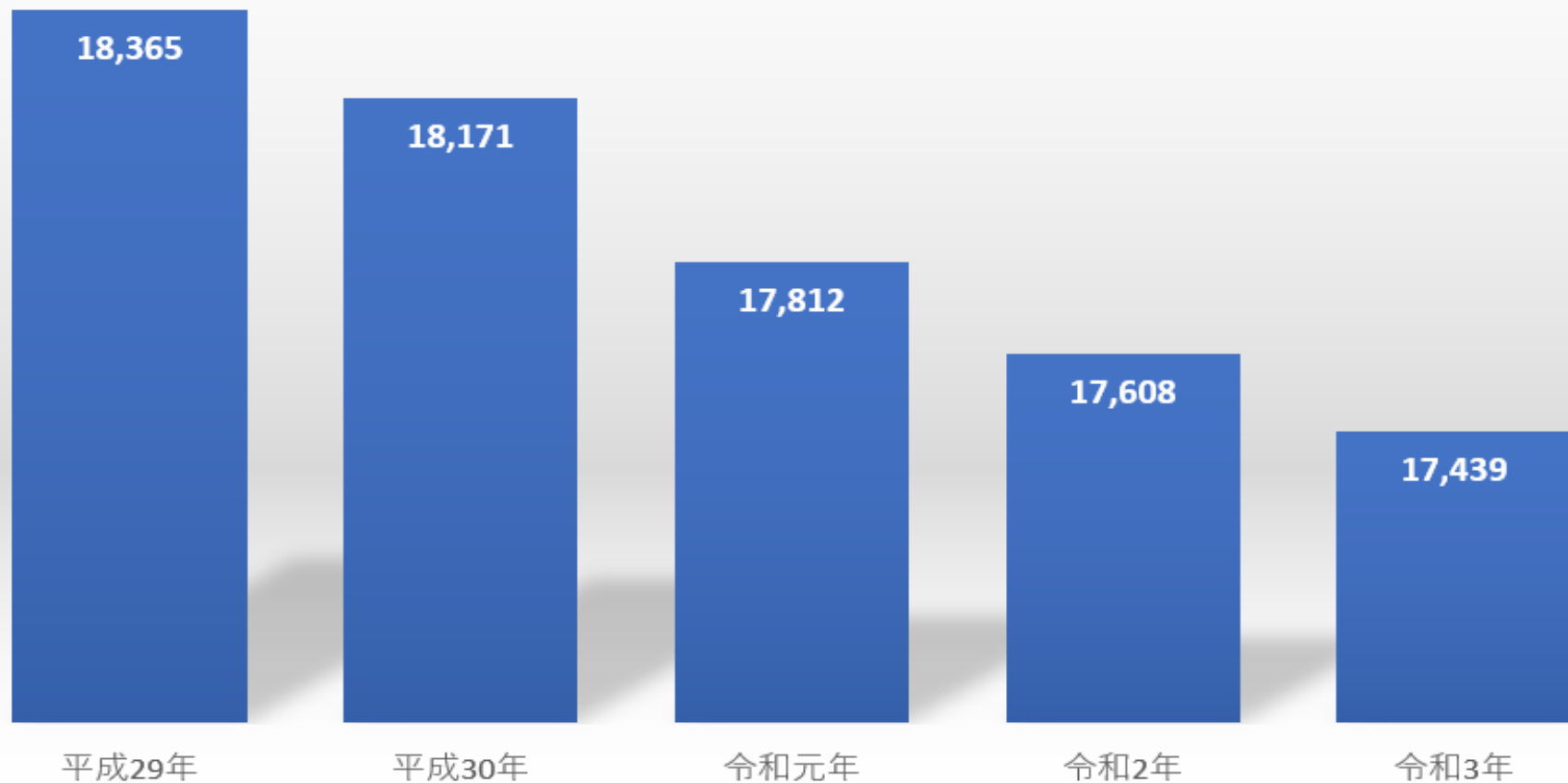
あい！HUB和菓子大作戦



長崎県立佐世保西高等学校A班

荒木翔、一瀬恒太郎、岩佐友莉華
浦上浩之介、武田みなみ

私たちの高校がある大野支所管区人口推移



佐世保市役所ホームページより

私たちの研究テーマは

私たちの町を子どもからお年寄りまで、
みんなが住み続けたい町にしたい！

です。

～私たちの町の「上田製菓舗」～

- ・ 以前は息子さんが洋菓子のパティシエ
→和菓子と洋菓子で幅広い年齢層に愛されたお店だった
- ・ 息子さんが病気で亡くなり…
→おじいちゃんが営む和菓子だけのお店となる
→お客数もガクンと減ってしまった

【そもそも、この研究のきっかけは・・・】

『この小さな和菓子屋さんを

私たちの町から失いたくない！』

私たちは若者たちを上田製菓舗に呼び戻そうと

まず **映る和菓子を開発** することから始めました

「世知原茶 生どら焼き」



【どら焼き生地】 6～7cm 20枚

薄力粉	180g
世知原粉末緑茶	20g
ベーキングパウダー	10g
砂糖	60g
卵	2個
牛乳	200g
みりん	大さじ2
はちみつ	大さじ1

はちみつの
保湿効果で
しっとりした
モチモチ生地です♪

【生クリーム】

生クリーム	200g
ホワイトチョコ	100g
世知原粉末緑茶	小さじ1

ホワイトチョコ入りで
緑茶に合うコクのある
ミルキーな生クリーム♪

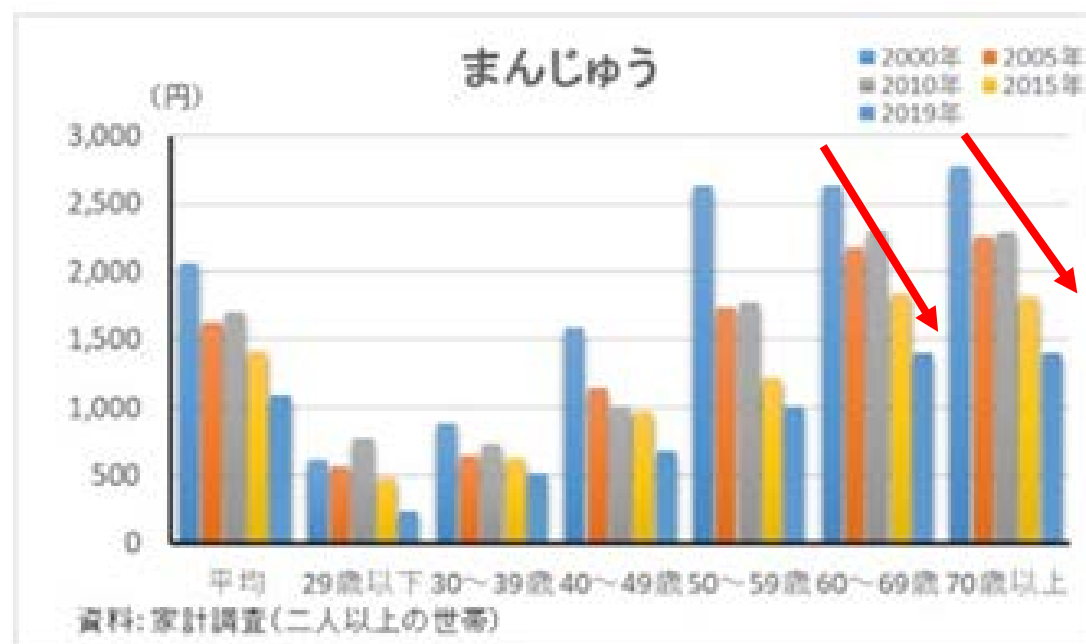
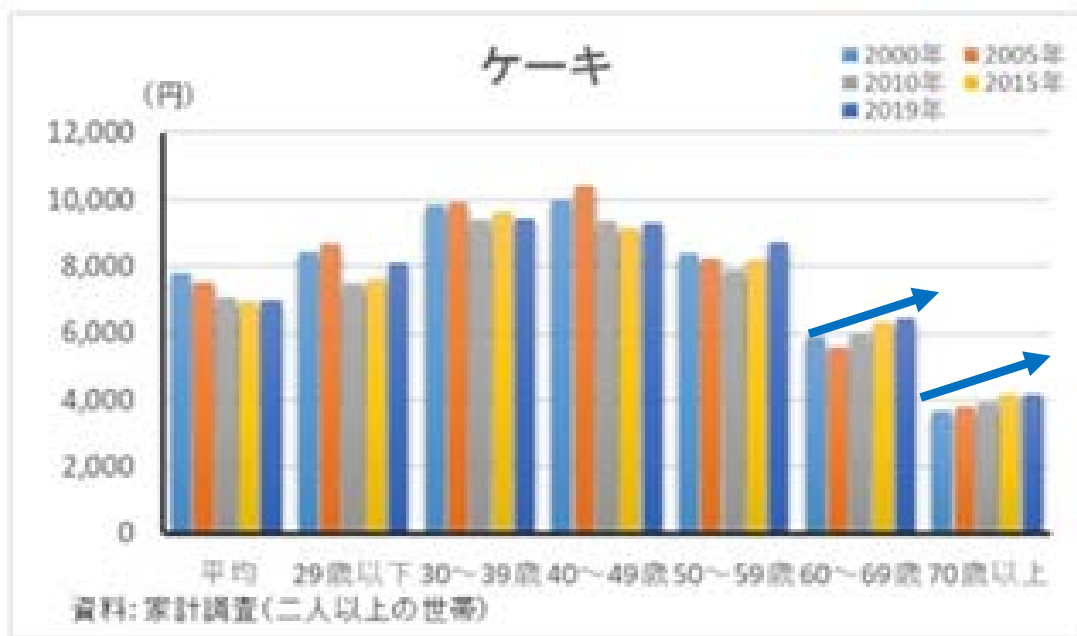
【粒あん】

市販品使用

高齢者でも和菓子離れ

和菓子だけだと売り上げ減少は明らか！

～年代別の人気度（洋菓子と和菓子）～



*家計調査（総務省統計局）資料

- ・若い世代→和菓子より、**洋菓子人気が高い**
- ・高齢者でも→**和菓子人気が下がり**、洋菓子人気が高まっている

ところで、長崎の土地柄といえば

砂糖を運んだシュガーロード



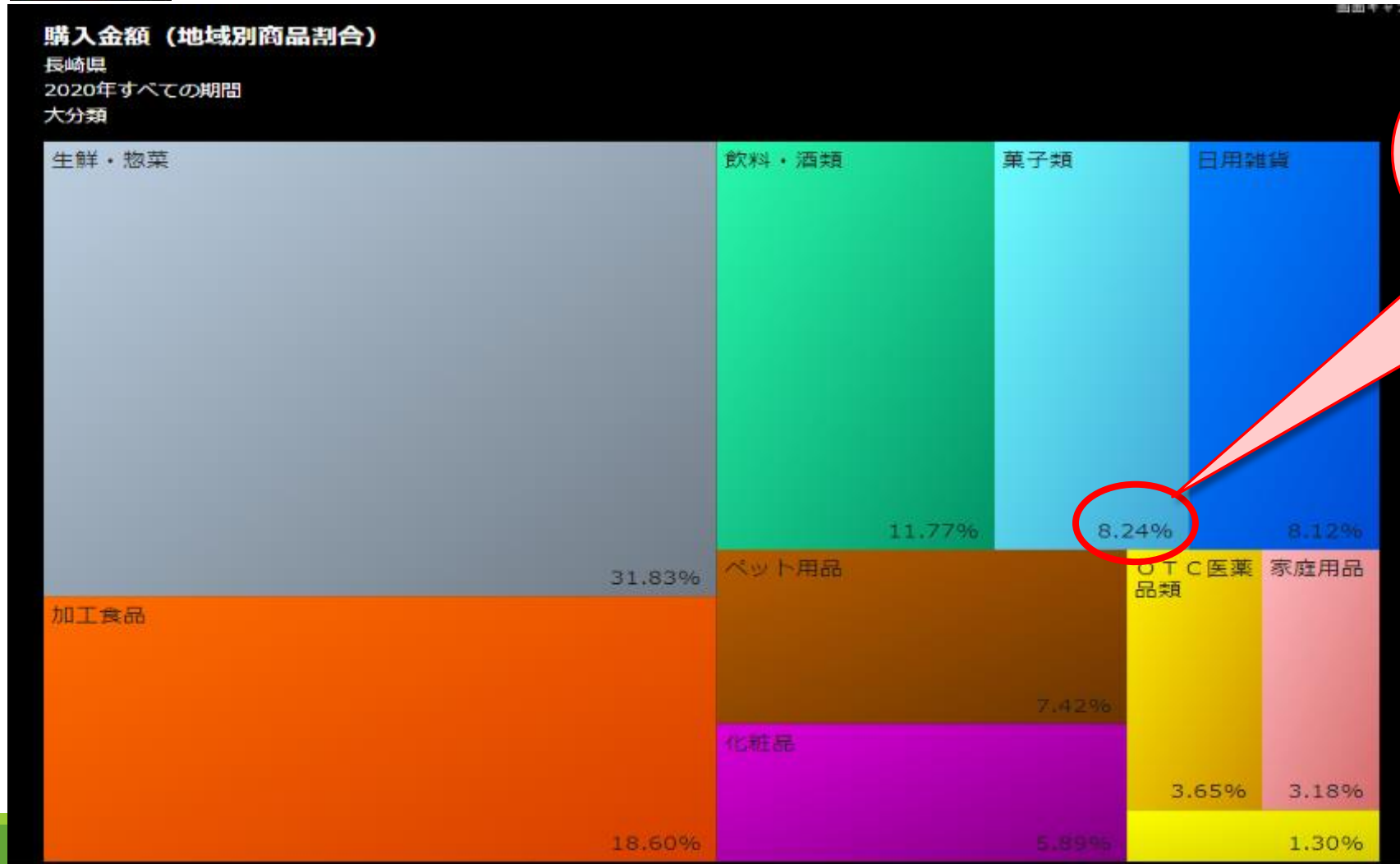
江戸時代、長崎街道はシュガーロードと呼ばれ、砂糖を日本全国に流通させました。

そもそも
長崎県は古くから
甘いものとの関係が
深い地域です。



現在の 長崎県の購入金額に占めるお菓子の割合は

RESAS



8.24%

これって高いの？

福岡	長崎	宮崎	沖縄	大分	熊本	佐賀	鹿児島
8.26%	8.24%	8.16%	7.86%	7.63%	7.49%	7.48%	6.99%

長崎県は、九州の中で購入金額に占めるお菓子類の割合が福岡に次いで2番目に高い



『和菓子を使って地域を元気にできる！』

地域の魅力を多くの人に伝えながら小さな和菓子屋さん
さんと地域を元気にすることができる！
地域が助け合い、支えあい、愛がいっぱいの町に！

「あいHUB和菓子大作戦」

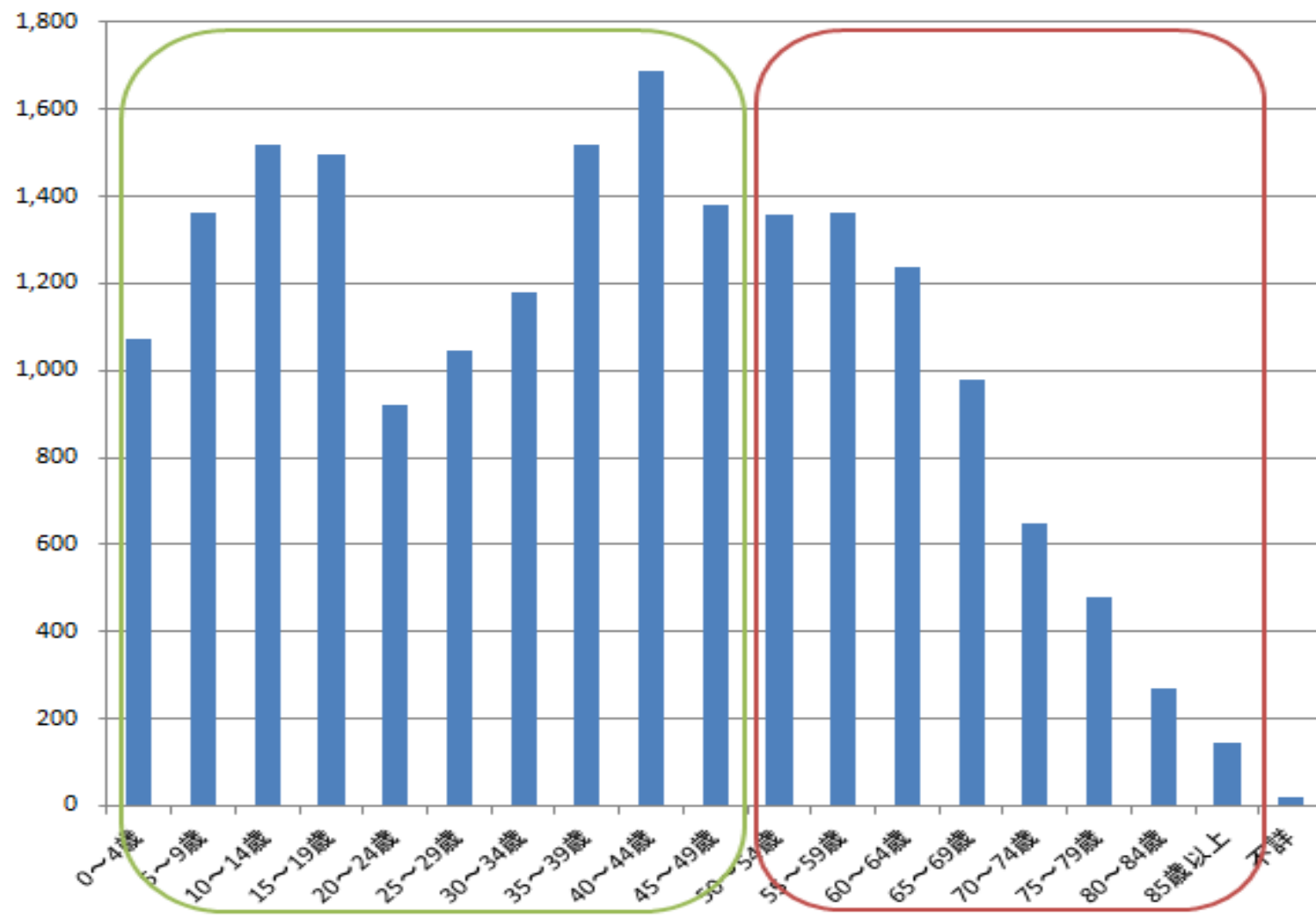
を提案します！

「あいHUB和菓子大作戦」 とは

上田製菓舗をHUBの中心にして、地域の魅力を繋げ、地域の人々を繋げたい



私たちが住む大野支所管内には、
「若いファミリー層」 と 「高齢者層」 の大きく2つのグループに分けられる



それぞれのグループに向け、
「あいHUB和菓子大作戦」
として、2つのMissionを提案





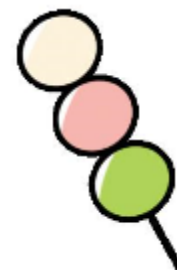
Mission I (若いファミリー層)



「親子で作るアイデア和菓子コンテスト」

【目的】

- (Ⅰ) 地元の若い人たちに上田製菓舗に興味を持ってもらう
- (Ⅱ) SNSを利用して上田製菓舗の和菓子だけでなく地元の食材を広く知ってもらう
- (Ⅲ) 家族愛があふれる地域にする



【コンテストの要領】①

- ・コンテストの開催については各町内の回覧板で周知させる。
- ・材料費は1個につき500円以内とする
- ・上田製菓舗のホームページを作成し、親子でお菓子を作っている動画で応募してもらって、完成度だけでなく、楽しく親子でお菓子作りしている様子も審査の対象とする。



【コンテストの要領】②

- ・ 審査は上田製菓舗のおじいちゃんを中心に。
- ・ 動画を公開し「いいね」の数も参考にする。
- ・ コンテストごとに**地元の食材**を指定する。

動画を公開することで地域の特産品を広く
知ってもらうチャンスになる

地元の食材をもっと知ってもらうチャンス！

①世知原町のお茶



②花みずき養蜂園の蜂蜜



③さとむら牧場の乳製品



④ 柚木町の豊富な野菜



⑤ 関戸麴屋の麴



【コンテストの要領】③

- ・優秀な作品は期間・個数限定で上田製菓舗に商品化してもらう。



自分の作品が店頭に並べば多くの人に知れ
せなくなる



今まで上田製菓舗に訪れたことがなかった
お客がお店を訪ねてくれる切っ掛けになる

Mission 2（高齢者層対象）

「和菓子をきっかけに高齢者が活動の中心となって
元気に暮らせる地域作り」

【目的】 いつまでも暮らし続けたい住みやすい町づくり

- （Ⅰ）高齢者が住み続けたいと思える地域作りを進め、人口流出をストップさせ、**人口増加よりもまず人口を維持**させること。
- （Ⅱ）**高齢者を中心**とした活動を活発にすること。
- （Ⅲ）高齢者が**お互いに支え合う**コミュニティを作ること。

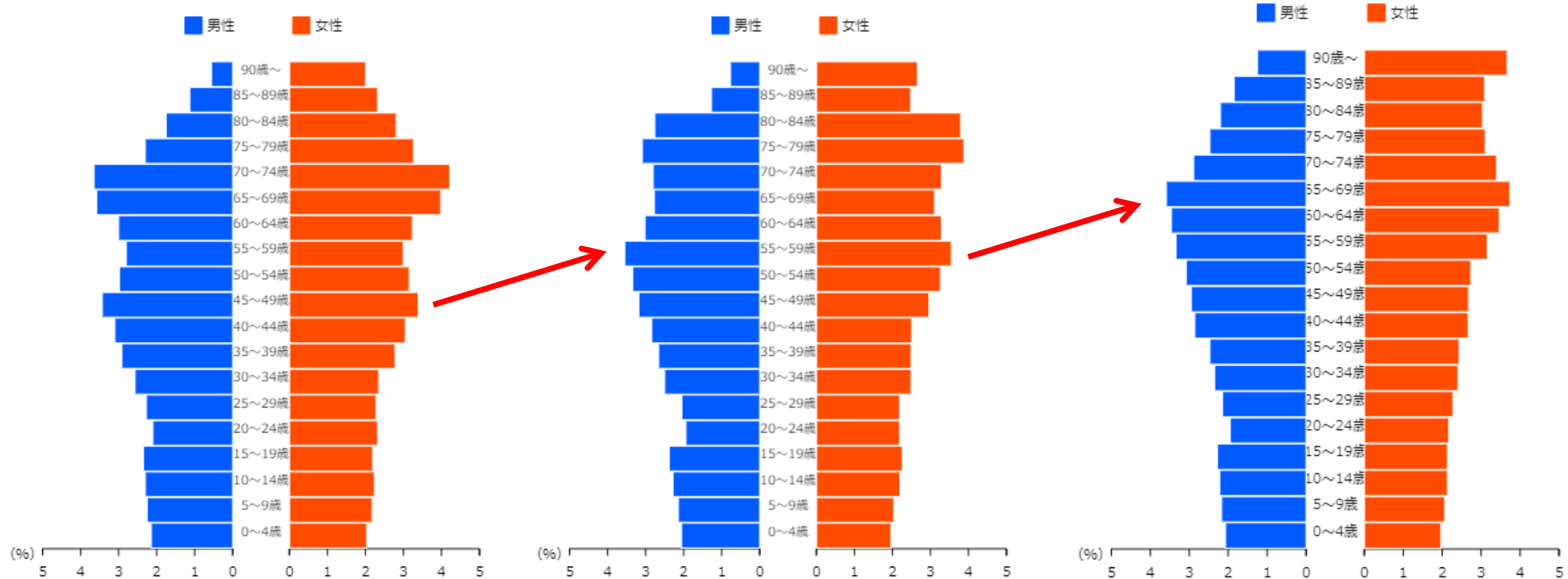
人口ピラミッド

長崎県佐世保市

2020年

2030年

2040年



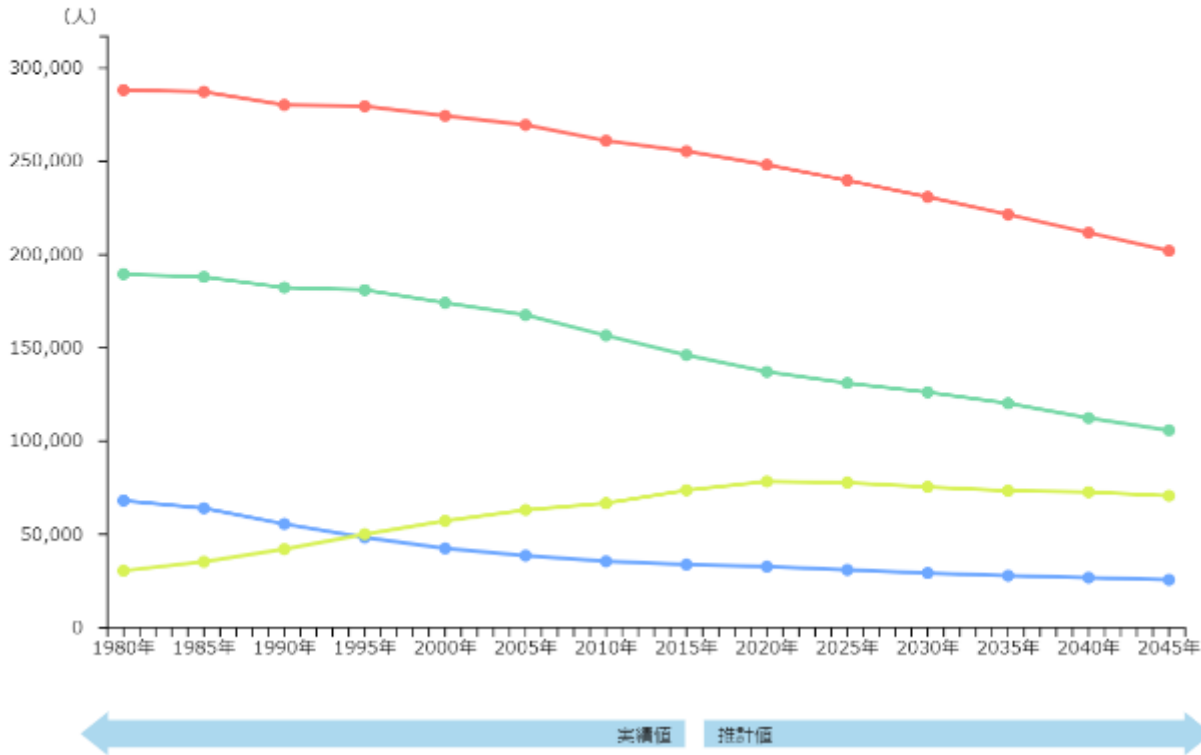
2020年、佐世保市の人口構成の一番多い年代は男性女性ともに70歳～74歳であり、生産年齢の45歳～49歳の人の年齢が上昇し**高齢者が増えることが予想されています。**



人口推移

長崎県佐世保市

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口



2020年

老年人口（65歳以上）：78,363人（31.58%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：137,141人（55.26%）
年少人口（0歳～14歳）：32,672人（13.16%）

2030年

老年人口（65歳以上）：75,451人（32.68%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：126,192人（54.65%）
年少人口（0歳～14歳）：29,263人（12.67%）

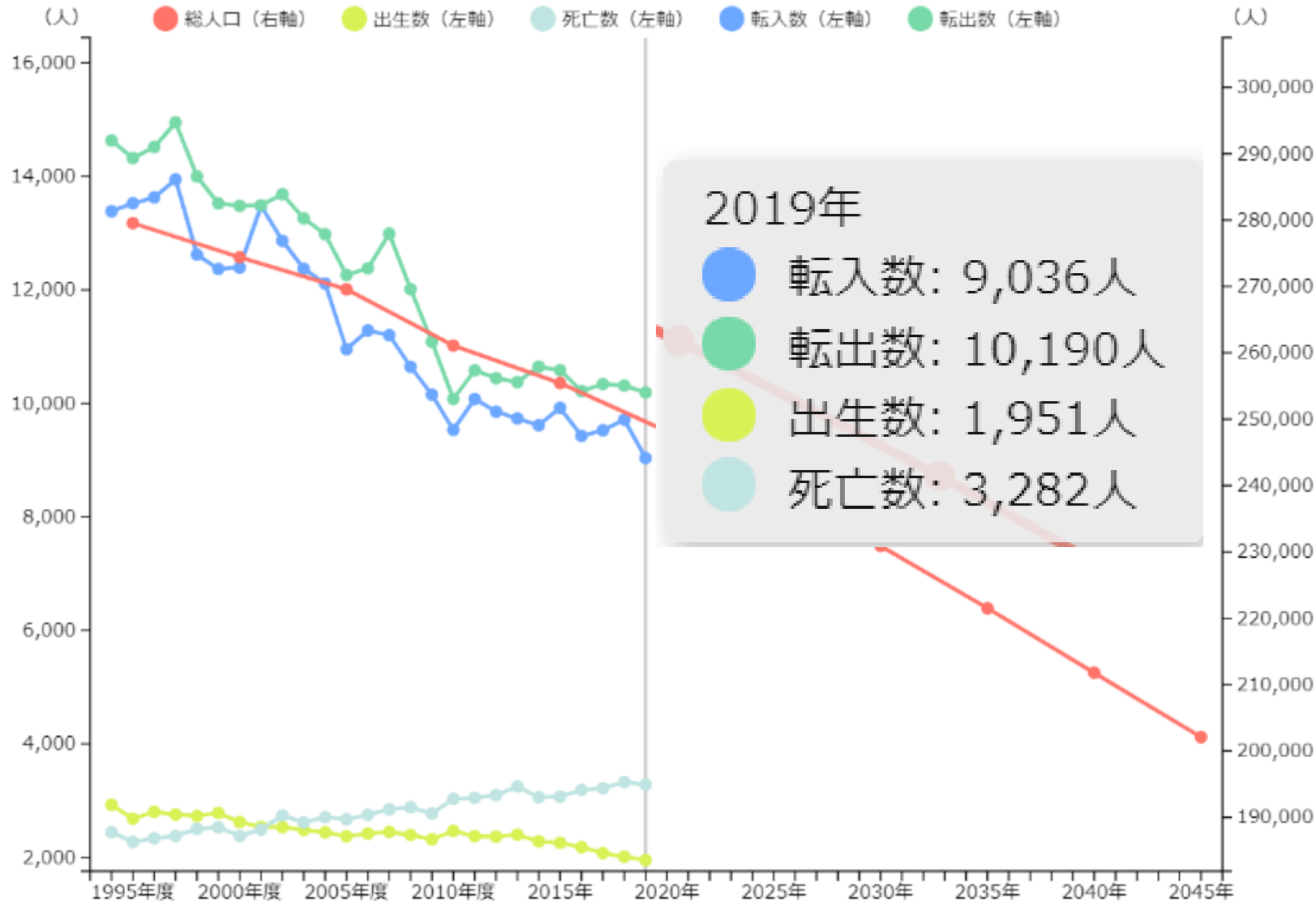
2040年

老年人口（65歳以上）：72,649人（34.3%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：112,348人（53.05%）
年少人口（0歳～14歳）：26,784人（12.65%）

総人口に対する老年人口の割合の予想は
2020年31.58%→2030年32.68%→2040年**34.30%**と増加する一方です。
周りを見れば「お年寄りしかいない」、そういう社会が近づいています。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

長崎県佐世保市



出生率は年々減り、死亡率は年々増え、さらに転出数が転入数を上回りどんどん人口が減っていき、高齢者が占める割合増えていきます。「お年寄りしかない」ような社会で豊かな生活を送るためには、高齢者を最大の人材と考え、高齢者自身が中心となって活躍することが重要です。

そのために高齢者の中からリーダーを育成する必要があります。

【提案】和菓子作りを利用してリーダー育成！

「和菓子作り教室」

大野地区コミュニティセンターで高齡者を対象とする

講師は

高齡者の方々に上田製菓舗を知ってもらう目的もあり

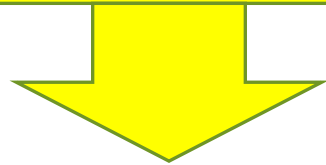
⇒ 上田製菓舗のおじいちゃんに依頼

高齡者の方々に地域の人々と交流を持ってもらうために

⇒ 「親子で作るアイデア和菓子コンテスト」で
優秀作品に選ばれた親子に依頼

地域包括支援センターに依頼し、職員の方には生徒として参加してもらっておしゃべりしながら自然なかたちでそれぞれの地区で活動するためのノウハウを教えてください

⇒ **リーダーの育成**



和菓子作りに親しんだ高齢者の方々に**リーダーとして**それぞれの地区の公民館で和菓子作りのサークルやお茶会などを企画してもらおう

お茶会には私たちの高校の茶道部・太鼓部も時々参加し応援させてもらいたい！

お茶会の場合、高齢者の方々が気軽に集まって心を通わせ、
いろんな情報を得ながら **リフレッシュ** できる場になる！

和菓子はその例です & 和菓子はスタートラインです
地区の高齢者の中には様々な趣味に長けている方がいるはず！
和菓子がきっかけとなって一つのコミュニティができれば…

- ・ 山登りが好きな方
 - ・ 旅行が好きな方
 - ・ カラオケが好きな方
 - ・ 料理が得意な方
- など…



そんな高齢者が入れ替わり立ち代わりに次々にリーダーとなって
活発な活動が続く ・ そんなコミュニティを作りたい

「あいHUB和菓子大作戦」



「親子で作るアイデア和菓子コンテスト」と

「和菓子をきっかけに高齢者が活動の中心とな
って安心して暮らせる地域づくり」で

私たちの町を子どもからお年寄りまで、
みんなが住み続けたい町にしたい！



